

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

特集：岡山の夏祭り「うらじや」から生まれる町づくり、人づくり
～世代を超えて繋がる「表町おきやく連」の取り組み～

9

No. 223
Sep. 2016

あすなろ福祉社会ホームページ：<http://asunarofuku.jp/>

写真提供：島村昌治さん



写真提供：島村昌治さん

特集：岡山の夏祭り「うらじや」から生まれる町づくり、人づくり ～世代を超えて繋がる「表町おきやく連」の取り組み～

平成28年8月6日・7日、今年も岡山では夏祭りとして第23回「うらじや」が開催されました。あすなろが「表町おきやく連」の一員として「うらじや」に参加し始めて二年目。参加者6人が、6月から2ヶ月間練習を重ね、その成果を出し切りました。踊り子として今年も活躍してくれた藤田加奈子さん、「表町おきやく連」の代表・矢部久智さん、副代表・島村昌治さんにお話を伺い、「うらじや」の魅力に迫ります。

「うらじや」とは、岡山の伝承である「桃太郎伝説」を元につくられたお祭りです。

「うらじや」には、踊り連を作つて参加します。踊

り連に所属する踊り子は、「温羅化粧」という「温羅鬼神」をモチーフにした化粧や衣装を身にまとい、岡山の街中にある演舞場を踊り歩き、パフォーマンスを競い合います。「うらじや」の最終日には、踊り子と観客が一体となつて参加する「総踊り」が行われます。一九九四年から始められた「うらじや」も、今では踊り連総数一三六連、踊り子総人数六二〇〇人が参加する大きなお祭りです。当日は、街全体が「うらじや」一色に染まります。

「うらじや」ってどんなお祭り？

みんなで踊るって楽しい！



藤田加奈子さん、二三歳。
うらじやは今年で二度目の出場。
カフェMOMOでお菓子作りを頑張っています！
趣味…買いたい物。ペットの犬「あおい君」と遊ぶこと。

一普段どんなことをされていますか。

つらい事もたくさんあつたけど、今は自分らしく過ごせています！

一大変な中続けられた原動力は？

踊れることが楽しかったから、当日を目指していく中で達成感があつたからだと思います。今年は、練習用DVDで自主練をして頑張りました。当日はどうなるかな…と不安がありながら練習をしていました。

現在は、あすなろ福祉会のカフェMOMOに通つて、お菓子作りや軽作業、アクセサリーを作つたりしています。活動はとても楽しいです。

一「うらじや」の魅力について教えてください。
踊ることが楽しいです。練習するにつれて踊れるようになる事も自分の自信につながります。「表町おきやく連」は、良い人が集まつていて、明るくて楽しい踊り連です。本番の時、「大丈夫？」と参加しているお母さんたちが声をかけてくれた事もありました。子どもが多いので、練習や休憩中に走り回っている子ども達を見て癒されるのも魅力です。

一練習は早くから始めるのですか？

二か月間、毎週日曜日九時～一二時、旭川の河川敷で練習していました。「表町おきやく連」代表の矢部さんが前に立つて踊りを教えてくれます。外での練習なので、暑さがきつかったり、パレードの練習ではポジションキープや周りとの間隔を保つのが難しかつたです。途中から踊りの振り付けが変わる事があり、去年の踊りと混ざってしまう事もありました。

—これまでの経歴を教えてください。

中学校三年生の時にいじめを受け、男子や見た目が派手な人が苦手になつた、三学期はほとんど学校に行けなくなりました。食欲不振が続き、心療内科に通うようになり、「自律神経失調症」と診断を受けました。高校に進学してからも、精神的にしんどかつたり、お腹が痛くなつたりする事もありましたが、頑張つて卒業しました。ドッグトレーナーになりたくて、専門学校に通いましたが、早朝の活動や持ち回りの当番があり、家と学校の距離が遠かつた為、通うのが難しくなり中退しました。

十九歳の時に、かかりつけの心療内科で、障害があるのではと検査を勧められ、知的障害があることが分かりました。「一般の就職口では就職が難しいかもしれない、就職をする為の訓練を受けた方が良いのでは」と、三年前にはすなろに来ました。最近はしんどいと感じる事も、困つている事もありません。すなろに来てからストレスを感じる事がなくなり、普通に過ごす事ができています。

—MOMOでのやりがいを教えてください。

お菓子作りやラッピングができる所です。お菓子作りはあまり経験がなかつたけど、練習して少しずつできるようになつていった事がとても嬉しかつたです。あと、接客ができる所です。初めは緊張したけれど、今では慣れて

なりました。食欲不振が続き、心療内科に通うようになり、「自律神経失調症」と診断を受けました。高校に進学してからも、精神的にしんどかつたり、お腹が痛くなつたりする事もありましたが、頑張つて卒業しました。ドッグトレーナーになりたくて、専門学校に通いましたが、早朝の活動や持ち回りの当番があり、家と学校の距離が遠かつた為、通うのが難しくなり中退しました。



猛暑の中、踊り切りました。
演舞場で踊る藤田さん。本番二日間は

—「うらじや」への参加は二回目ですが、今年も参加しようと思ったのはなぜですか？

去年「うらじや」に出た時メダルをもらつていてる人を見て、メダルが欲しい！と思い、今年も「うらじや」に出ることにしました。今年はメダルをも

お客様が来たら積極的に接客をしに行っています。

—本番に参加してみてどうでしたか？

初日は四会場、二日目は八会場を踊り、総踊りにも参加しました。

暑さと移動が大変でしたが、あまり

飛ばしすぎないよう小休憩を挟み、笑

顔で踊るように頑張りました。他の踊

り連の踊りが見られる事も楽しみの一

つで、振り付けや衣装、掛け声を見て

すごいなと思いました。皆で最後まで

踊れたことが一番良かったです。

また、去年は人が多くて怖かった総踊りにもチャレンジできました。足を踏まれながらも頑張つて踊りました。大勢の人と踊るのはとても楽しかったです。

—「うらじや」に参加して自分が変わったことはありますか？

大分変わったような気がします。体力が少しばづいたかもしれません。男性や見た目が派手な人が苦手でした。が、「うらじや」ではそこまで気にならず、他の連の人とすれ違う時に意識して挨拶をすることできるようになりました。あと、今年初めてすなろから参加されたMさんなど「うらじや」の参加者と仲良くなることが出来ました。

—今後の目標や夢は？

MOMOが楽しくて離れるのはさびしいですが、もう少しMOMOで経験を積んだら、アクセサリーや手芸をやりたいです。



練習風景。



魅力ある踊りをした人がもらえる貴重なメダル。演舞場ごとにメダルの種類が異なります。



四歳から六〇歳まで みんなで楽しく踊れる踊り連

し、表町商店街という名前が安心して「うらじや」に参加できるきっかけになりました。かつこいいチームが注目を浴びやすいためですが、衣装や音楽が変わらず、振り付けも簡単という事で、親子連れや初心者が参加しやすい「表町おきやく連」に誇りをもっています。

「表町おきやく連」の取り組みについて教えてください。

島村 毎年三月ごろにスタッフ会議があり、方針やスケジュールを決めます。四月頃に踊り子の募集を開始し、六月から練習を開始します。練習は七回から八回行い、八月の第一週の土曜日、日曜日に本番がある、という流れです。練習は矢部さんを中心に進めます。

矢部 表町商店街としては、「パレード会場の運営」「踊り連」の二本柱で進めていきます。長いことやっているので、自然と皆さんの協力が得られ、そのお



スタッフ会議の様子。チームワークもばっちり。

矢部 参加してくれた子供たち、お父さん、お母さんたちが「楽しかったです。」と言つてくれる事で全部が報われます。見ている人達から「あなた達の踊り連を見ているとほつとした」「表町おきやく連だったら私も踊れそう。」という声を聞き、「表町おきやく連」の良さを分かってもらえたんだなあと嬉しく思います。

島村 今年で「表町おきやく連」が開催して一〇年目、僕が参加して八年目になりました。最初はできないこともたくさんありましたが、年を重ねる毎にできることが増えていっています。また、子供たちが普段とは違う熱心な顔で踊っているのを見ると「ああ、頑張っているんだなあ」と思い、やりがいを感じます。職業柄写真を撮ることが多く、うらじやが写真の腕のバリメーターになっています。

「表町おきやく連」とは？

(左)島村昌治さん。普段は街の文房具屋さん。「表町おきやく連」代表。

(右)島村昌治さん。普段は写真屋さん。

矢部 表町商店街の商人衆と、商店街に買い物に来るお客さんと一緒に作るチームです。元々表町商店街は、踊り連を受け入れるパレード会場として自主運営をしていました。それも表町商店街ができる地域貢献の一つではあります。が、お客様の夏の思い出作りにもなる

頼れる良いコンビです♪



「大変だなと思うことがありますか？」

島村 人数が多いだけにちゃんと踊れるかなあと、演舞場を上手に回れるように考えていかなければいけないのが協力してくださるので。

矢部 ないです。おきやく連のスタッフや参加者のお母さん方、お子さん方が協力してくださるので。



「不安だったので妻にも一緒に来てもらいました（島村談）」ということで、奥さんのめぐみさんもインタビューに参加。島村ご夫妻も1周年！素敵です。

演舞場での様子。
矢部さんの煽りで会場が盛り上がり、
踊り子と観客がひとつになります。



島村 去年は裏方で参加して、今年初めて衣装を着て踊りました。去年は、スタッフとしての役割が主だったため、夫が「楽しい」という気持ちが分かりにくかったのですが、いざ自分も衣装を着て一緒に踊ると、彼が楽しいと言っている意味が分かった気がします。こんなに幅広い年齢のみんなで踊ることは日常ではありませんよね。踊ることで得られる一体感、一つの家族のように感じられる事が、「楽しい」の根源なのかな、と思います。

「あすなろが参加させて頂いて、二年目。どのような思いを持って受け入れていたいているのでしょうか？」
矢部 ハンディキャップを持つていらっしゃる方は、「変わっている」と

**障がいがあつても誰とも変わらず
普通に生活している事を
感じられる連に**

矢部 「表町おきやく連」の良さは、家族のように、三世代で踊れることがすかね。「うらじや」のやりがいというと、若い人は、自分達の思いのだけを踊りを通して伝える、発散、発信できる事にあると思うし、それぞれに参加する目的があり、それぞれに合ったチームがある。その集合体で、踊り子さん、支える人、見に来てくれる人、地元を支えてくれる人が一つになつて創り上げるお祭り。そういう所が魅力じゃないですかね。

—「表町おきやく連」の良さ、
「うらじや」の魅力は？



積長顔に温羅化粧をする様子。
積極的に手伝つてくださいます。



矢部 多分、病名をつけようと思つたら僕だつて付きます。今は細分化されているので、病名をつけようと思つたら誰にでもつく時代ですよね。本当に重度の方の中にはみんなと何かと一緒にやるということが苦手な方もいらっしゃるかもしれません、程度の差、キャラクターの差があるだけであつて、ひとくくりに「障がい」と言つてはいけないのではと思つています。

いふことではなく「普通」のこと、「みんなの中に普通にいるんだ」ということを小さな子供たちにも感じ取つてほしかった。あすなろのみんなも普通ですね。「何かを相談しながらやらなければいけないのかな」と構えていた自分もいましたが、事前に想定したり、備えたりするのではなく、何か起こればその時にみんなで考えたらいい、と思つていました。もともと参加者に、ハンディキャップを持つている方、もいたので、受け入れても大丈夫だ、という自信もありました。いざ始めてみれば、スムーズにできました。



親子三世代が和気藹々と踊れるチーム。
いつも笑顔が絶えません。

誰もが参加でき、
世代を超えてつながっていく
チームを目指して



「表町おきやく連」の今後の展望について教えて下さい。

矢部 「うらじや」 자체が、岡山の町でストーリー性のあるお祭りを行い、岡山の町に感謝できるような人づくりにもつなげていこう、というお祭りです。「表町おきやく連」がそういう思いを担える一助になれたらしいし、岡山市の夏で一番大きなお祭りに対し、表町商店街が「表町おきやく連」として協力できたらと思っています。

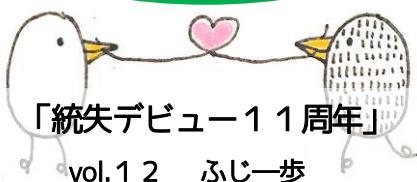
明るく楽しく景気よく
笑顔満開お氣楽に♪
千客万来おもてちよう

「うらじや」なるにつれて、「表町おきやく連」を卒業する子もいると思います。そういった子が、また他の連で「うらじや」を踊ってくれたらなあと思うし、子供たちが結婚してお父さんお母さんになったら、彼らの子供たちを連れて戻つてくれるなら嬉しいですね。「表町おきやく連」を通して「うらじや」というものを感じて貰えるツールであつたらなと想いますね。

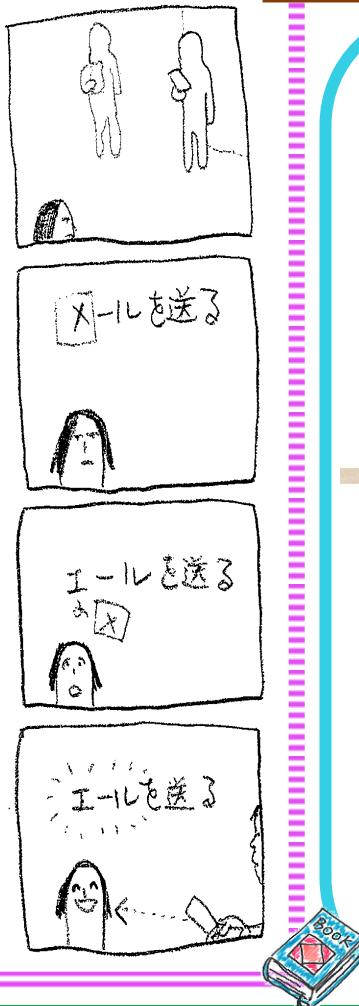
島村 一〇年続けたので、これらも継続することが大切だと思いません。表町商店街として、地域に貢献できるように…ということももう少し考えていたらあと思います。インターネットで「表町おきやく連」と検索したら、変換予測で出てくるようになります。表町商店街として、地域

おきやく連としては、今後も変わらず、小さなお子さんからお年寄りまで、ハンディキャップを持った人も踊ることができる連でいてほしいですね。商店街はどんな人でも遊びに来ることのできる場所です。商店街のオフィシャルチームだからこそ、誰もが参加できるチームであつてほしいですね。子どもの中には大きくなるにつれて、「表町おきやく連」を卒業する子もいると思います。

投稿コーナー



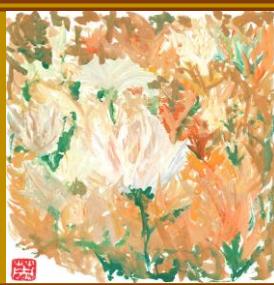
あ、メール送ってる人たちがいる。



そつか。
ありがとう。
みんな。

『アート・オブ・フラワー』

英聖 作 ↓



英聖 作 ↓



ぱるつこ広場
ぱるつ

一 広場

イラスト・絵・詩・文章など作品
投稿募集中!

(前回からの続き)

私を「障害者」と呼ばないでください

一つの事に集中し過ぎて周囲が見えなかつたり

普通の一般の人とあまり変わらないし

少し大袈裟に表現しても許して下さい

ただ個性が強いだけだから

それが私の個性的なキャラクターなのだから

思った事を言葉で表現する事が少し苦手で

現実が見えてきて

漢字を書いたり計算が遅いかも知れないけ

社会的に私の存在を見て認めてくれて嬉しいよ

でも私なりに何事も一生懸命だから

これからもこんな私だけどよろしくね

差別を受けたり偏見される事は辛いよ

企業が見えて

唐突だが、株価が上がれば、株を売り出している企業は、上がった分だけ財産的な価値が上がったといえる。要するに株券を持つということは、その企業に対してそれだけの財産的価値を認めているということだ。つまりその企業の株式を持っている人、すなわち株主なのだ。されならば、企業は一体誰のためのものなのかも明白だ。企業は株主のためのものなのだ。そして企業が行う活動の目的はただひとつ。自分の財産的価値を高めることだ。

とはいえ、企業にはどうしてもそこで働く従業員が必要である。従業員がいなければ、企業の活動はできない。ところが、例えばそんな企業の従業員の一人が不祥事を起こしたとする。そうなると、この企業の信用はなくなり、結果としてこの企業の財産的な価値は著しく低下する。そうなると株主はこの企業の株を他人に売ってしまう。そして買い手がつかない企業は解散するしかない。

そう考えると、経営者が従業員より株主を重視する姿勢をとつたとしても何ら不思議はない。しかしあまりに従業員を軽視する姿勢を企業が取るとすれば、いずれその企業は没落すると思う。

なぜなら企業の財産的価値を高めているのは、その企業の従業員たちに他ならないからだ。

古楽日和

藤井 健喜
こくひより

おなかも、「ひこうも まんぶくキャンプ！」



平成二八年八月三〇日(火)、「山キャンプ」へ 総勢二九名が参加し、津山市の黒木キャンプ場に行つてきました！今回も、山キャンプを盛り上げるために、山キャンプを盛り上げるために、募集り、テーマ決めや準備をしました。今年のテーマは「たのしいっ！ おなかも！」るもまんぶくキャンプ」でした。

初日は、黒木キャンプ場まで車で2時間の旅のため、くめなん道の駅や昼食も兼ね、イオン津山店のフードコートに立ち寄りながら向かいました。

キャンプ場に到着した後は、周辺散策・ますのつかみ捕り、滝見学に分かれ、思い思いの時間を過ごしました。滝見学に行つた人のなかには、滝に打たれ人もいて満喫しました。

そして、みんな楽しみにしていた夕食へ。メニューは、バーベキューとバンバンジー、「ご飯、パエリア。みんなで作つて食べる夕食はとても美味しかったです。



翌日の始まりは、有志によるラジオ体操。その後、朝食・昼食作りを行いました。メニューは、豆ごはんと漬物、お味噌汁、玉子焼き、サラダ、鶏スープの雑炊、魚介チーズリゾットと気がつけば、炭水化物祭りでした。

その後、初日と同様に周辺散策と滝見学、木工体験に分かれて活動しました。木工体験では個性豊かな鳥のキーホルダーが出来上がりました。お昼までの時間には、スイカ割りをしました。三名が挑戦し、三名田でやつと割れることができました。

二日目の締めは、昼食の力レードとフルーツポンチでした。初参加の人も多くいた今年の山キャンプでしたが、今年もみんなで協力し合い、テーマの通り、「たのしいっ！」キャンプにすることができました★

八月二〇日(土)、流しそうめん大会を開催しました。参加者は総勢一四名。全長三メートルはあるかという簡にそうめんを流し味わいながら、かわるがわるそうめんを食べて楽しみました。

でも、そうめんが流れるだけでは終わらないのが、あすなろのそうめん大会…。キユウリ、レタス、茄子、ゆで卵、オクラ、お魚ソーセージ、冷凍バナナ、そば(ー？)まで流れます。もはや、そうめん大会ではありません。そんな圧倒的な品数の多さ、クオリティーに参加者全員が圧倒されたことは言うまでもありません。「そばが流れるそうめん流しなんて、見たことがない……」きつといのそうめん大会は、伝説として語り継がれるのではないでしょうか。

お腹も心も満たされ、充実した時間になりました！

～ものづくりアート工房あすなろ～



亀本 龍哉 絵画展 開催中！



九月一日から九月三十日まで、表町あすなろ二階で絵画展を開催しております。



「ソニセアート」

絵とは言葉にならないもので、感じたままに描く。

芸術とは、生への執着である。

「理由」人は死ぬから、生きたいと願う。

絵になれば死後も残る。

原色使いが強烈なインパクトを与える、力強い作品が展示されております。

関わり方で心の開き方は変わってくるのではないか」また他の方からも「父親は社会の厳しさを知っている分、自分の子どもにも厳しくなるのでは?」「関わり方が分からなくて、そうなっているのかも」等意見が出ました。

また次の話題として「近所付き合いはできていますか?」が挙がりました。これに対して「近所付き合いもだし、自分が死んだ後にこの子は生きていけるのかと考えてしまう」「今の時代、障害があるなしに関係なく、近所付き合いはしにくい時代なのでは?」「近所の付き合いが難しくても、福祉サービスや、制度も上手く利用し繋がりを作つておくことが大切なのは?」といった話になりました。また最後にどんな病気、障害、状況であっても、子供が居てくれるという事の大切さを感じる出来事があった。日常生活の中で、親子でも人と人。安易に人を傷つけられるような不本意な言葉を発さないようにしたいという話となりました。よい交流の時間となりました。次回交流会は一月十九日(土)。イベントとして一〇月六日(木)小森家にてぶどう狩りを開催します!ご気軽にご参加ください!



第49回「あすなろ家族の会」交流会開催

八月の「癒し場」開催しました!

八月一二日(金)運営者を入れて六名の参加で「癒し場」を開催しました。

皆さんから出して頂き、話し合ったテーマは『相手がイライラしているか分からなければ、自分には相手がイライラしているように感じて会話がものすごく辛く感じる。どうすればよいでしょうか?』と『取り返しのつかないことを言つてしまつて人間関係がござれた時どうしたらいいか?』の一いつでした。

対人関係において、自分と他人との感じ方や価値観の『違いの溝』を埋めるのは難しいですね。『違いの溝』を無理に埋めようとすれば自分自身の価値観や個性を無理に隠さなければならなくなる、逆に自分自身の価値観や個性を尊重すればするほど『違いの溝』はどんどん深まってしまう・・・自分自身の価値観や個性をどこまで主張して、どこまで隠すか?は誰にとっても永遠の課題だと思います。でも、そのどちらかを選ぶのも、選らんじ得結果の成績を受けるのも自分自身、主体的に生きていいく上での諸刃の刃(光と影)ですね。

また「配慮して欲しい事」として今回出た意見は『発言を否定しないでね』『調子が悪いのでききどれない時は言って下さい』『声が小さくてすみません。いってね』『他人の心象に上手く対応できないのでイメージトークはしないでほしい』『漢字が書けなくてもあたたかく見守ってね』でした。誰でも苦手な事は有ると思います。大事な事は『そんな事が苦手(出来ない)なんてワガママではないの?』という評価をしない事だと筆者は考えます。お互いがお互いの苦手な事に配慮する事で『違いの溝』を埋めていくかと思うのですが皆さんは、どう考えられるでしょうか?!

次回は10月に開催します!

13:00~ジョブサポ1階
多くの方の御参加を心からお待ちしています。見学・途中参加も歓迎です!
*他の参加者を批判したり改善を強要しない事を第一のルールにしています。

INFOMATION

9月の予定

9月					
12	月				
13	火	健康講座「ジム」10時			
14	水				
15	木				
16	金	お菓子サークル 13時			
17	土				
18	日				
19	月				
20	火	PC講座 10時			
21	水	WRAP10時			
22	木	秋分の日			
23	金	ソフトボール(百間川グラウンド) 13時現地集合			
24	土	お抹茶サークル 14時			
25	日				
26	月				
27	火	健康講座「ロングブレス」10時 卓球サークル 13時出発			
28	水	ぱるランチ 10時			
29	木				
30	金	つどい 13時30分			
10月					
1	土				
2	日				
3	月				
4	火				

※プログラム・サークル活動に参加希望の方はご連絡をよろしくお願ひします。

※日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行:社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒700-0822 岡山市北区表町3-7-27
- 編集:ぱる・おかやま
- TEL:086-201-1720 FAX:086-201-1713
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp
- ホームページ:<http://asunaro-fuku.jp/>

29日(木) ぱるランチ

今月は「キーマカレーとフルーツババロア」を作ります♪

時間 10時~

場所 ぱる・おかやま

参加費 100~300円

(人数によって変動あり)



16日(金) お菓子サークル

今月は「ロールケーキ」です♪

時間 13時~

場所 ぱる・おかやま

参加費 100~300円

(人数によって変動あり)



30日(金) つどい

テーマは「差別について語ろう」など自由です。お茶をしながら話しましょう。

時間 13時30分~

場所 ぱる・おかやま



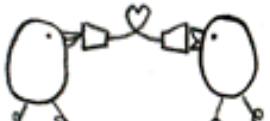
<9月ピア電話相談日>

ピア電話相談とは

「ピア(peer)」とは、
「仲間・対等」という意味。
ピアセンタークローバーでは、同じ病気の体験をした仲間たちが、自分の経験をもとに、同じような悩みで困っている方々を支えていくピアサポート活動を行っています。
気軽にお電話ください！

午前 10時~13時

午後 13時~16時



	火	水	木	金	土
			1	2	3
AM			休	休	○
PM			○	休	休
	6	7	8	9	10
AM	休	休	休	休	休
PM	○	○	休	○	○
	13	14	15	16	17
AM	休	休	休	休	○
PM	○	休	休	休	休
	20	21	22	23	24
AM	休	休	休	○	○
PM	○	○	休	○	休
	27	28	29	30	
AM	休	休	○	休	
PM	○	休	休	休	